

産後うつと緊急帝王切開に関する研究動向

石川萌花¹, 富岡美佳², 井上理絵³

¹社会医療法人鴻仁会 岡山中央病院 バースセンター

²社会医療法人鴻仁会 岡山中央病院 ウィメンズメディカルセンター

³神戸市看護大学 大学院 健康生活領域ウィメンズヘルス看護学分野

第65回 日本母性衛生学会総会・学術総会

利益相反の開示

筆頭発表者名:石川萌花

演題発表に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業などはありません

Background

【我が国の産後の自殺】

□2022～2023年の2年間で、118人の妊産婦が自殺

□妊産婦（妊娠中+産後1年以内）の自殺死亡率は7.7/10万出生である。

□産後は高齢出産である40-44歳が最も高い

（厚生労働大臣指定法人・一般社団法人 いのちを支える 自殺対策推進センター）

□自殺した妊婦では約4割がうつ病または統合失調症であり、褥婦では6割が産後うつ病をはじめとする精神疾患であった

（日本産婦人科医会, 妊産婦メンタルヘルスケアの重要について）

【虐待】

□厚生労働省によると、全国215カ所の児童相談所が児童虐待相談として対応した件数は2020年度の速報ベースで20万5029件。前年度比で5.8%増、20年前との比較では11.5倍以上で、特に近年は高い増加率で推移

（白書-日本の子どもたちの今）

【女性のライフスタイルの変化】

□平均初婚年齢、女性の第一子出産時の平均年齢は一貫して上昇傾向

□不妊治療の件数が増加、2017年には、全国56,000人の新生児が体外受精によって誕生しており、これは同年の全新生児の約6%を占めている（厚生労働省, 令和2年度 子ども・子育て支援推進調査研究事業 不妊治療の実態に関する調査研究 最終報告書）

Background

【帝王切開の増加】

- 近年日本では、女性を取り巻くライフスタイルの変化や生殖補助医療の発達などの影響を受けて妊娠年齢が上昇しており、高年妊娠（35歳以上）の頻度が増加
- 母体年齢が高いほど、妊娠高血圧腎症、前置胎盤、帝王切開分娩の頻度は高くなっている（国立研究開発法人 国立成育研究センター 日本における超高齢妊婦の妊娠予後を検証）

【産後うつ発症のリスク因子について】

- 産褥早期におけるエジンバラ産後うつ病質問票が高得点となるリスク因子の検討について明らかにしており、初産・緊急帝王切開術・37週未満・社会的ハイリスク要因あり・精神疾患既往ありという項目がそれに当てはまると結論付けている（鈴木ら 2022）

Edinburgh Postnatal Depression Scale: (EPDS)

- 2019年 産後の健診(産婦健康診査事業)によるEPDSを用いたスクリーニングが開始
- エジンバラ産後うつ病質問票(Edinburgh Postnatal Depression Scale:EPDS)とは、産後うつ病のスクリーニングを行うためのスケール
- 10種類の質問項目に対して、患者自身が記入した結果を点数化してスケーリングを行う
- 合計得点9点以上は陽性、産後うつ発症のリスクは高い



1. 笑うことができたし、物事の面白い面もわかった。 (0) いつもと同様にできた (1) あまりできなかった (2) 明らかにできなかった (3) 全くできなかった			
2. 物事を楽しみにして待った。 (0) いつもと同様にできた (1) あまりできなかった (2) 明らかにできなかった (3) 全くできなかった			
3. 物事が悪くいった時、自分を不必要に責めた はい、はい (1) いいえ、 (3) たいていそうだった (2) 時々そうだった あまり度々ではなかった (0) いいえ、 まったくそうではなかった			
4. はっきりとした理由もないのに不安になったり、心配した。 (0) いいえ、そうではなかった (1) ほとんどそうではなかった (2) はい、時々あった (3) はい、しょっちゅうあった			
5. はっきりとした理由もないのに恐怖に襲われた。 (3) ほとんどそうではなかった (2) はい、時々あった (1) はい、しょっちゅうあった (0) いいえ、そうではなかった			
6. することがたくさんあって大変だった。 はい、はい、いつものようにほ (1) いいえ、 (3) たいてい対処できなかった (2) うまく対処しなかった たいていうまく対処した (0) いいえ、 普段通りに対処した			
7. 不幸せなので、眠りにくかった。 はい、はい、ときどきそうだった (1) いいえ、 (3) ほとんどいつもそうだった (2) はい、時々そうだった あまり度々ではなかった (0) いいえ、 全くそうではなかった			
8. 悲しくなったり、惨めになった。 (3) はい、たいていそうだった (2) はい、 かなりしばしばそうだった (1) いいえ、 あまり度々ではなかった (0) いいえ、 全くそうではなかった			
9. 不幸せなので、泣けてきた。 (3) はい、たいていそうだった (2) はい、 かなりしばしばそうだった (1) ほんの時々あった (0) いいえ、 全くそうではなかった			
10. 自分自身を痛つけるという考えが浮かんできた。 はい、はい、時々そうだった (1) めったになかった (0) 全くなかった			

emergency caesarean section

□帝王切開は「予定帝王切開」と「緊急帝王切開」の2つに分けることができる。

「予定帝王切開」は、前もって計画して行う帝王切開のこと

「緊急帝王切開」は、経膣分娩を予定していたものの、妊娠分娩の進行中に何らかの理由で経膣分娩が不可能と判断され、急いで行う帝王切開。

□予定帝王切開を行う理由には、骨盤位、多胎妊娠、前置胎盤、子宮筋腫核出術既往歴、母体疾患など

□緊急帝王切開を行う理由で多いものは、妊娠中や分娩進行中に胎児機能不全になる場合。

経膣分娩を目指して分娩が始まったものの、分娩停止となり、緊急帝王切開をすることがある。

帝王切開を予定していたものの、手術予定日より前に陣痛が来ると緊急帝王切開となる。

妊娠高血圧症候群のために、緊急に帝王切開を行うこともある(日本産科麻酔学会JSOAP)

□緊急帝王切開で出産した女性は、出産への自信や母親としての自信を喪失し、出産を不本意に思う気持ちと児が無事であったことに安心する気持ちの間で揺らいでおり、育児を行い子供や家族との関係を築く中から、産後4ヵ月には緊急帝王切開であっても自分の出産に他ならない体験であると出産への思いは変化し、さらに第三者に思いを語ることで出産体験の受容は促進されると明らかにしている(橋本ら, 2019)

postpartum depression

- ホルモンの急激な変化、出産そのものによるストレスや疲労など、出産後の女性の約30～50%は、産後2～5日ごろに涙もろさや不安定な気分、抑うつ、イライラなどの経験。多くの場合一過性で自然に軽快（マタニティブルーズ）
- 抑うつ気分や過度の不安、興味または喜びの喪失、不眠、気力の減退などが2週間以上続く場合は、産後うつ病の可能性がある
- 日本では出産を経験した女性の約10%が産後うつ病を発症するといわれている
- 発症のリスク要因として、うつ病の既往、妊娠中のうつ症状や不安、パートナーや家族からのサポート不足、妊娠・出産に対する葛藤など、環境的な要因も大きい
- 産後うつ病の一次スクリーニングとしては、エジンバラ産後うつ病質問票
確定診断のためには精神科医などによる検査・診断が必要

purpose

わが国の帝王切開率は増加傾向にある. その中で緊急帝王切開で
出産した女性の産後のメンタルヘルスに着目し,産後うつ発症予防に
繋げるケアを検討する目的で文献検討を行う



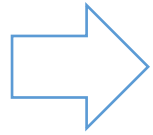
method

- 2019年から2024年までの海外論文はPub medを用いて「emergency caesarean section AND postpartum depression」で検索した
- 邦文は1997年～2024年まで医中誌Web版を用いて検索用語「産後うつ・リスク因子」「産後うつ・緊急帝王切開」で原著論文を検索した
- 著作権等に配慮し分析を行った

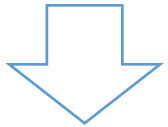


Results I - ①

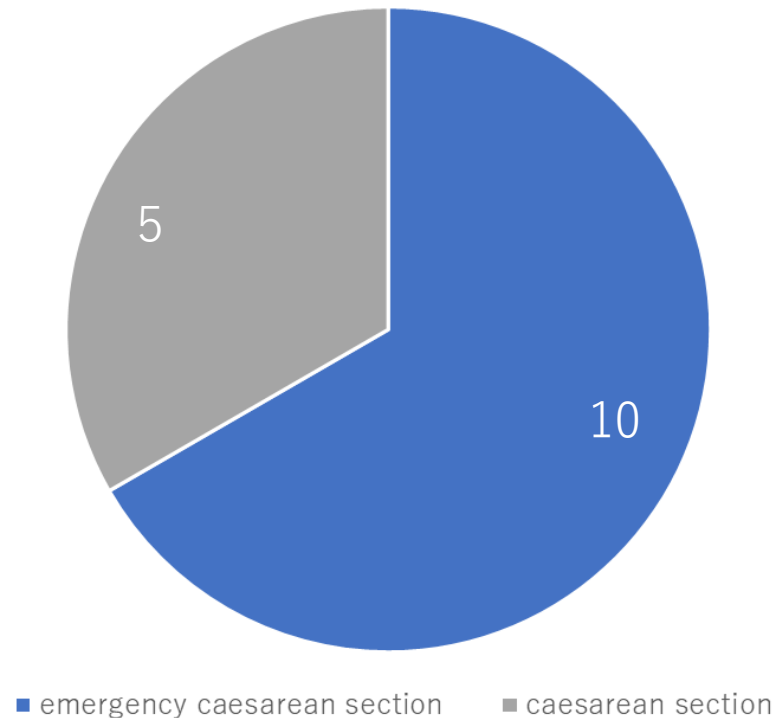
◆「emergency caesarean section AND postpartum depression」(34)



- ①直接的に産後鬱と関係しない文献
- ②薬剤などの効果などに関する文献除外



- ①本研究に関連する文献は34件中15件であった
- ②いずれもpostpartum depressionとの関連性が報告されていた



Results I – ②

◇心的外傷後ストレス、産後うつ症状との関連性

- ・Marie-Andrée Grisbrook , Deborah Dewey , Colleen Cuthbert , Sheila McDonald , Henry Ntanda , Gerald F Giesbrecht , Nicole Letourneau ,2022
- ・Jiajie Ning , Jing Deng , Shanshan Li , Caina Lu , Pingping Zeng ,2024)

◇分娩方法と産後うつ病の関連性

- ・Heba Kamal Meky ,Mohamed Mokhtar Shaaban , Magdy Refaat Ahmed , Tamer Yahia Mohammed,2020
- ・Yousra Alturki , Samia Badea, Orjwan Kasmi, Lujain Alhashmi, Tarek Arab,2023
- ・Stina Kruse Skov, Sarah Hjorth, Helene Kirkegaard, Jørn Olsen, Ellen Aagaard Nohr、 2022

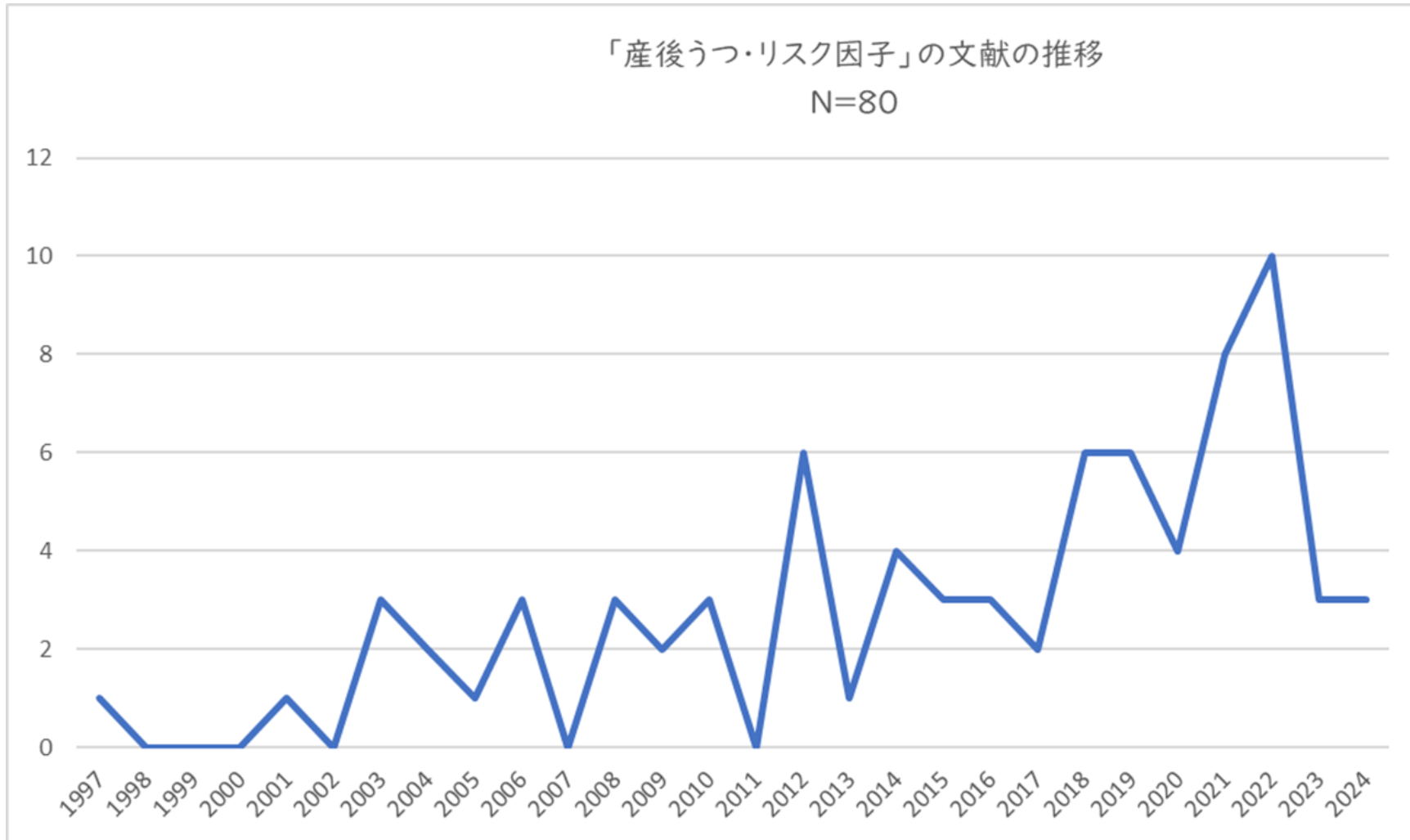
◇母乳育児に開始のタイミング

- ・Xinran Shen, Shunna Lin, Hui Li , Nubiya Amaerjiang , Wen Shu, Menglong Li, Huidi Xiao, Sofia Segura-Pérez, Rafael Pérez-Escamilla, Xin Fan, Yifei Hu,2022

◇計画外の帝王切開の産後うつ症状を引き起こすリスクとの関連

- ・S Smithson , J Mirocha , R Horgan , R Graebe , R Massaro, E Accortt ,2022

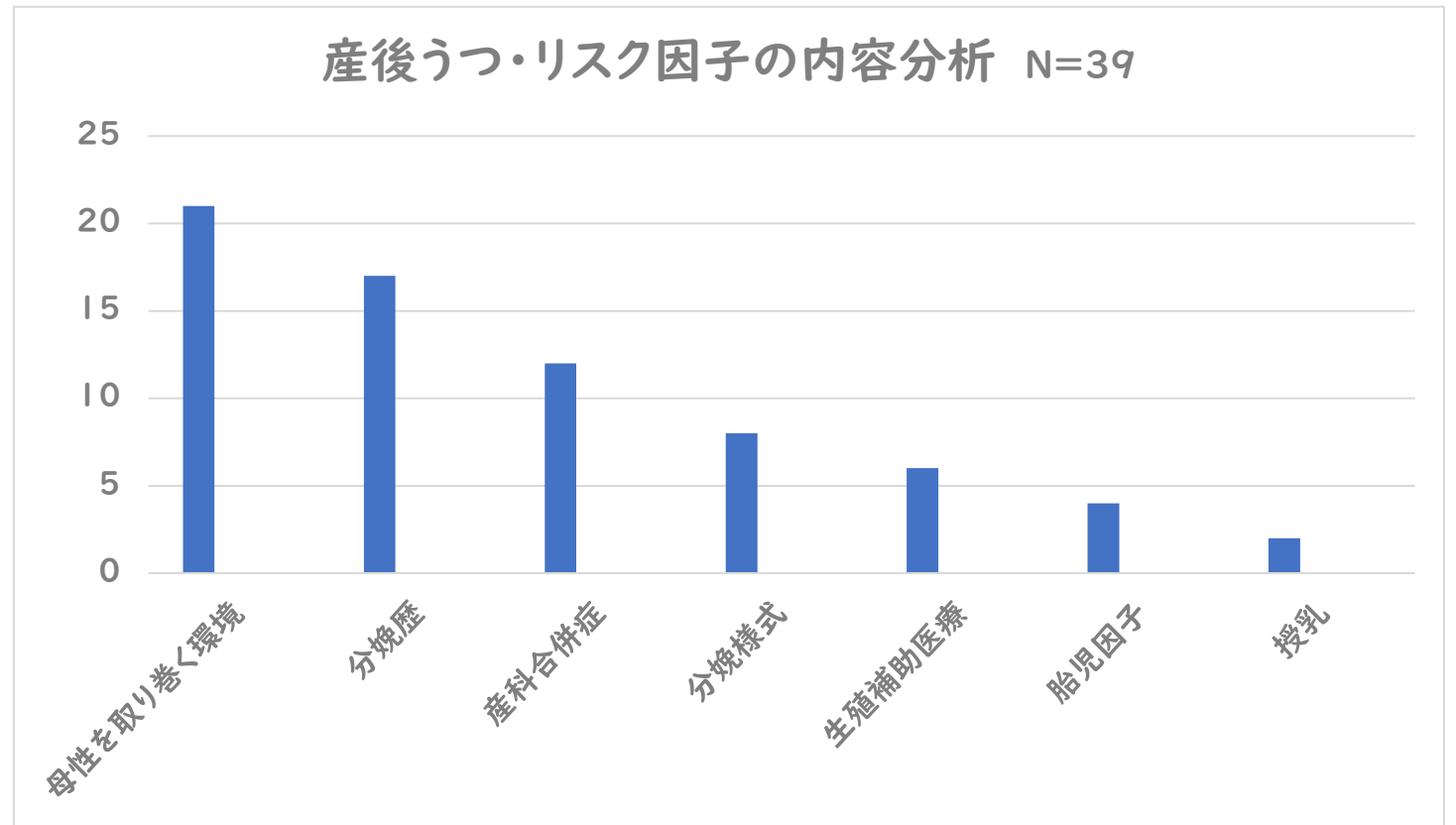
Results II - ①



産後うつ・リスク因子の検索用語で検索した結果80件が検索された。
1997年~2024の文献の推移は、2019年 産後の健診(産婦健康診査事業)によるEPDSを用いたスクリーニングが開始され、文献数も増えていると推察される

Results II - ②

□80件 (抄録時は79件) から、海外の文献、本研究内容と直接関係が認められない文献を除き、39件を分析対象とした。



Results II - ②

【母児を取り巻く環境】

社会的ハイリスク（6） 経済的不安（6） 夫との関係（3）

母子家庭（2） 母子分離（2） 特定妊婦（2） 若年妊婦（1） 高齡出産（1） 未婚（1）

【分娩歴】

初産（8） 多産婦（1） その他（4）

【産科的合併症】

精神疾患（11） 流産の既往（1）

【分娩様式】

緊急帝王切開（3） 帝王切開（3）

【生殖補助医療】

不妊治療（6）

【胎児因子】

胎児死亡（1） 先天異常（1） 早産児（1） NICU（3）



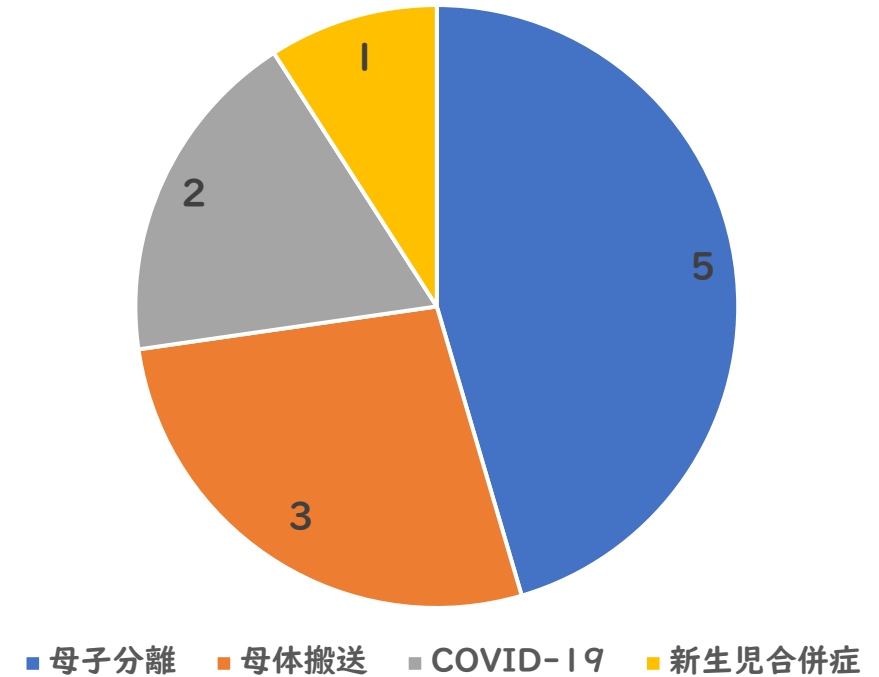
Results III - ③

◆ 「産後うつ・帝王切開」のキーワードで検索した16件

→ 薬剤の効果、父親の産後うつ、本研究と直接関係ない文献を除外し

10件を分析対象とした。

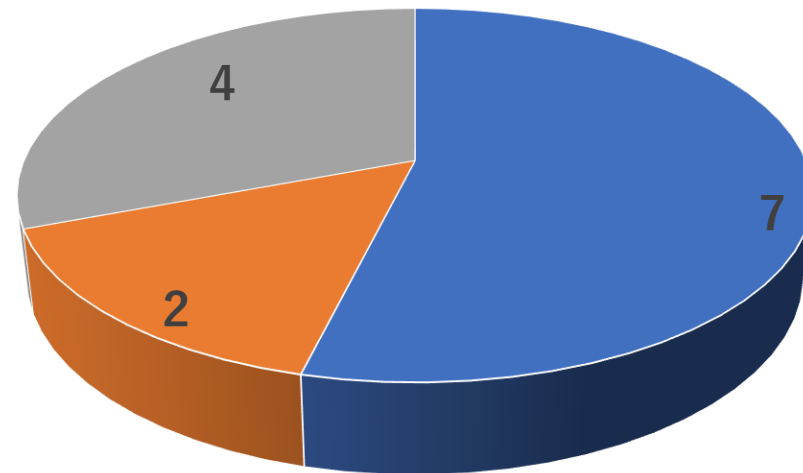
産後うつ・帝王切開文献の内容分析 (N=11) *重複あり



Results III - ③

◆「産後うつ・帝王切開」のキーワードで検索した10件の文献に記載された緊急帝王切開と産後鬱との関連についての文献の内容分析

帝王切開が産後うつに及ぼす影響について (N=13) *重複あり



■ 緊急帝王切開影響ある ■ 緊急帝王切開影響なし ■ 記載なし

discussion

- 海外論文から、emergency caesarean sectionはpostpartum depressionに影響する事が報告されていた。緊急帝王切開を受ける女性の心理的プロセスを明らかにしていく。
- 分娩形式と、心的外傷後ストレス、産後うつ症状との関連性を今後も検討していく。
- 緊急帝王切開は「計画外」であることを鑑みて、産婦に寄り添うケアを拡充していく必要がある。
- 母児分離の時期について、母乳開始についても、産後うつの間接的に影響を及ぼす可能性を考え、支援を行っていく。
- 2019年EPDSを用いたスクリーニングが開始されてから、早期に評価・支援が出来るようになってきているため、施設から、地域へと継続的なケアを検討していく。
- 我が国の、文献から、母子を取り巻く環境について、社会的ハイリスク、経済的不安、母子家庭などのリスク因子があったが、中でも、「夫との関係」については、今後着目していき、パートナーと共に子育てを楽しむ環境づくりが必要である。
- 精神疾患合併の方については、かかりつけ医との連携が不可欠となる。情報共有を行い、産前産後のメンタルヘルスの不調について、気軽に相談できる場として、出産施設はメンタルヘルスに関する研修等を受ける。
- 文献内容から、緊急帝王切開が産後うつに影響する事が示唆された。出産前準備教育に、帝王切開に関する情報提供が必要である事が示唆された。

Title	First Author	Publication Year
Associations among Caesarean Section Birth, Post-Traumatic Stress, and Postpartum Depression Symptoms	Grisbrook MA	2022
Meta-analysis of association between caesarean section and postpartum depression risk	Ning J	2024
Effect of implementing a birth plan on maternal and neonatal outcomes: a randomized controlled trial	Ahmadpour P	2022
Association of General Anesthesia and Neuraxial Anesthesia in Caesarean Section with Maternal Postpartum Depression: A Retrospective Nationwide Population-Based Cohort Study	Hung KH	2022
Vaginal delivery or caesarean section - Severity of early symptoms of postpartum depression and assessment of pain in Polish women in the early puerperium	Ilska M	2020
Association Between Mode of Delivery and Postpartum Depression: A Cross-Sectional Study in Saudi Arabia	Alturki Y	2023
Association between mode of delivery and postpartum depression: A systematic review and network meta-analysis	Sun L	2021
A single intravenous administration of a sub-anesthetic ketamine dose during the perioperative period of cesarean section for preventing postpartum depression: A meta-analysis	Li Q	2022
Timing of Breastfeeding Initiation Mediates the Association between Delivery Mode, Source of Breastfeeding Education, and Postpartum Depression Symptoms	Shen X	2022
Inflammatory changes in the plasma and cerebrospinal fluid of patients with persistent pain and postpartum depression after elective Cesarean delivery: an exploratory prospective cohort study	Yurashevich M	2023
Are 6 more accurate than 4? The influence of different modes of delivery on postpartum depression and PTSD	Beck-Hiestermann FML	2024
Cesarean section is associated with increased risk of postpartum depressive symptoms in Japan: the Kyushu Okinawa Maternal and Child Health Study	Yokoyama M	2021
Antenatal mobile-delivered mindfulness-based intervention to reduce perinatal depression risk and improve obstetric and neonatal outcomes: A randomized controlled trial	Leng LL	2023
The Association between Cesarean Section Delivery and Child Behavior: Is It Mediated by Maternal Post-Traumatic Stress Disorder and Maternal Postpartum Depression?	Grisbrook MA	2024
Associations Between Depression Symptoms, Psychological Intervention and Perinatal Complications	Hompoth EA	2020
Emergency cesarean section is a risk factor for depressive symptoms when breastfeeding is limited	Takács L	2022
Prevalence of postpartum depression regarding mode of delivery: a cross-sectional study	Meky HK	2020
The role of central serotonergic markers and estradiol changes in perinatal mental health	Borgsted C	2022
The association between caesarean and postnatal psychological distress: Effect modification by mental health history	Henderson I	2021
Fathers' subjective childbirth stress predicts depressive symptoms at six months postpartum	Aviv EC	2023
Prenatal depression and birth mode sequentially mediate maternal education's influence on infant sleep duration	Matenchuk BA	2019
Caught Between External Pressures and Internal Battles: Psychosocial Factors Affecting Gestational Weight Gain - A Scoping Review	Athar U	2021
Mode of delivery and short-term maternal mental health: A follow-up study in the Danish National Birth Cohort	Skov SK	2022
Measuring and conceptualizing PTSD following childbirth: Validation of the City Birth Trauma Scale	Nakić Radoš S	2020
Early breastfeeding is associated with low risk of postpartum depression in Taiwanese women	Chiu HC	2020
Is Primary Cesarean Section a Cause of Increasing Cesarean Section Rates in Greece?	Antoniou E	2020
Discharge instructions given to women following delivery by cesarean section in Sub-Saharan Africa: A scoping review	Musabeyezu J	2022
Unplanned Cesarean delivery is associated with risk for postpartum depressive symptoms in the immediate postpartum period	Smithson S	2022
Informal coercion during childbirth: risk factors and prevalence estimates from a nationwide survey of women in Switzerland	Oelhafen S	2021
Relation between delivery mode and maternal mental status one month after delivery at a perinatal center in Japan: A cross-sectional study	Suzuki S	2022
Exploring cardiac effects after oxytocin 2.5 IU or carbetocin 100 µg: A randomised controlled trial in women undergoing planned caesarean delivery	Bekkenes ME	2022
Impact of COVID-19 lockdown on maternal psychological status, the couple's relationship and mother-child interaction: a prospective study	Viaux-Savelon S	2022
A study protocol for the cardiac effects of a single dose of either oxytocin 2.5 IU or carbetocin 100 µg after caesarean delivery: a prospective randomized controlled multi-centre trial in Norway	Bekkenes M	2021
Association Between Periviable Delivery and New Onset of or Exacerbation of Existing Mental Health Disorders	Bruno AM	2023

Title	First Author	Publication Year
当院の周産期メンタルヘルスに関するスクリーニングシステムを用いた未婚妊婦に対する看護介入	國島 実希	2023
新型コロナウイルス感染症の妊産婦メンタルヘルスへの影響についての検討	照屋 浩実	2024
COVID-19パンデミックが当院で出産した母親の産後1ヵ月時メンタルヘルスに及ぼす影響	鴨下 香織	2022
当院におけるエジンバラ産後うつ病質問票高得点群のリスク要因の検討	山下 由佳	2024
産後早期におけるEdinburgh postnatal depression scaleに影響を及ぼす因子の後ろ向き検討	長田 宣子	2024
妊産婦メンタルヘルスケアのための産後うつ病に対するリスク因子の検討	藁谷 深洋子	2023
周産期における産後うつ病の危険因子、およびつらさと支障の寒暖計が有する能力 産科病院での研究(Risk Factors of Postnatal Depression and Potency of the Distress and Impact Thermometer in the Perinatal Period: A Maternity Hospital Study)(英語)	Takahashi Yumiko	2022
2週間健診時に評価した母親の産後うつ傾向リスク因子	岩丸 良子	2022
当院で産後2週間健診時に施行したエジンバラ産後うつ病質問票の得点の検討	森 陽子	2022
COVID-19パンデミック時の産後うつ病と社会的支援との関連 横断研究(The relationship between postpartum depression and social support during the COVID-19 pandemic: A cross-sectional study)(英語)	Terada Shuhei	2021
当センターにおける産後健診の実際 EPDSの集計結果から考察したこと	水口 ひとみ	2022
メンタルヘルス 2020年のCOVID-19流行による産後うつについての影響	鈴木 美奈子	2022
産褥早期におけるエジンバラ産後うつ病質問票が高得点となるリスク因子の検討	鈴木 公基	2022
エジンバラ産後うつ病評価票を用いた、合併症妊娠を含めた妊娠関連項目と周産期うつ病の関連の解析	平野 まどか	2021
周産期における社会的支援を考える:精神疾患・メンタルヘルス 産後うつ病のハイリスク妊婦に関連する周産期因子、社会的因子の検討	笠井 真祐子	2021
不妊治療中の女性に対するEPDSについての検討	村林 奈緒	2020
急性術後痛と帝王切開後の産後うつ病の早期発症との相関 後ろ向きコホート研究(Acute postoperative pain is correlated with the early onset of postpartum depression after cesarean section: a retrospective cohort study)(英語)	Shen Dandan	2020
不妊治療とエジンバラ産後うつスコアの関連について	佐藤 琢磨	2019
産後2週間と1ヵ月におけるEPDS得点と関連要因の検討	橋本 佳奈子	2020
エジンバラ産後うつ病調査票高得点者のリスク因子の分析	梅津 和佳	2020
先天異常児分娩例における産後うつ病自己評価の検討	大木 悠司	2019
A病院で出産した母親の産後うつに関する背景要因の検討 エジンバラ産後うつ病自己評価表を用いて	高野 あづさ	2019
出産経験別にみた「産後うつ」の妊娠期における危険因子	平光 良充	2018
帝王切開後慢性痛の発生頻度とリスク因子の検討 前向きコホート研究	井上 理恵	2018
産後1ヵ月までの夫婦の抑うつ状態	塩谷 友理子	2018
産後うつつのリスクを視野に入れた育児支援 退院前日と一ヵ月健診時にエジンバラ産後うつ病自己調査を実施して	成田 梢	2015
健全な満期出産乳児をもつ日本人の母親における分娩後初期のマタニティーブルーおよび抑うつ傾向に関連する因子(FACTORS ASSOCIATED WITH EARLY POSTPARTUM MATERNITY BLUES AND DEPRESSION TENDENCY AMONG JAPANESE MOTHERS WITH FULL-TERM HEALTHY INFANTS)(英語)	Takahashi Yuki	2014
高い精神衛生問題リスクを有する日本人母親の支援探究行動 市立保健所における地域密着型研究(SUPPORT-SEEKING BEHAVIOR AMONG JAPANESE MOTHERS AT HIGH-RISK OF MENTAL HEALTH PROBLEMS: A COMMUNITY-BASED STUDY AT A CITY HEALTH CENTER)(英語)	Ngoma Alain M	2012
初産婦の産後うつ関連要因の検討	山中 富	2012
当院の児童虐待の実態とその対策	中村 祥子	2012
産後抑うつの早期発見と早期支援のための地域連携システムの確立	松本 かおり	2012
妊娠中の母親の背景からみた産後うつ病のハイリスク要因の検証	東海林 みゆき	2009
地域における生後1ヵ月の子どもを持つ母親の産後うつ病とその関連要因の分析 母子保健事業から得られる母親の背景因子との関連	浜崎 優子	2009
エジンバラ産後うつ病自己評価表によるスクリーニングにおける高得点者のリスク因子の分析	原田 なをみ	2008
低リスク分娩における産後うつ病の危険因子についての検討	三田村 卓	2008
産褥期にある女性の不安要因の分析	佐藤 喜根子	2006
母子精神保健における周産期・乳幼児精神医学 産後うつ病の母親のスクリーニングと介入について	山下 洋	2003
産後うつ病のリスクファクター	玉木 領司	1997
診療 高度生殖補助医療後妊娠の産後うつつの発症リスクの検討と特徴 エジンバラ産後うつ病自己評価表から考える	櫻井 恭子	2018